

2022 年 4 月 1 日～2023 年 9 月 30 日の間に ソーシャルハイリスクを抱えた方で 当院に受診及び入院された方およびご家族の方へ

「当院におけるソーシャルハイリスクの一考察」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター 医療ソーシャルワーカー 筒井 大
研究分担者 川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター 副主任 金島 由佳
川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター 副主任 高橋 誉文

1. 研究の概要

ソーシャルハイリスクは医療ソーシャルワーカーによる支援の必要性が高いと予測される、経済的・心理的・社会的リスクであり、多くの患者が抱えている問題です。

近年、患者を取り巻く社会背景がより複雑なものへと変化しており、少子高齢化、後期高齢者の急増、社会的孤立等、閉鎖性が強く、対人的あるいは脆弱な無縁者の増加がみられます。さらには家族形態や機能の変化、これらと連動している近隣との触れ合い、連絡の過疎化、相互補助機能の劣化等、無縁社会の中で生活を営んでいる人々が急増する状況が懸念されています。そのため、医療ソーシャルワーカーの役割は問題解決の糸口を共に考え、支援することが重要な役割です。

そこで、ソーシャルハイリスクを抱えた患者を対象に、患者診療支援センターで業務上作成したソーシャルハイリスクチェックシートをもとに、様々な背景を調べます。そして、医療ソーシャルワーカーの支援の必要性を明らかにし、今後の業務に生かすことを目的とします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2022 年 4 月 1 日～2023 年 9 月 30 日の間に当院を受診、もしくは入院し、ソーシャルハイリスクを抱えた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2024 年 5 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院を受診、もしくは入院しソーシャルハイリスクを抱えた方で、研究者が診療情報をもとに患者診療支援センターが業務上で作成したソーシャルハイリスクチェックシートのデータを選び、ソーシャルハイリスクの要因に至る背景の分析を行い、問題解決に向けた支援の具体策を考

察します。

4) 使用する情報の種類

情報：虐待、無保険者、身寄りなし、家庭内散乱、ヤングケアラー、ソーシャルハイリスクチェックシート 等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、パスワード管理された附属病院患者診療支援センターのデスクトップPCで保存させていただきます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2024年3月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター 医療福祉相談室

氏名：筒井 大

電話：086-462-1111 内線 22615（平日：9時00分～17時00分）

ファックス：086-464-0662

E-mail：msw@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。